

技術・家庭科(家庭分野) 学習案内

【学習目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実践に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成。

【3年間の学習内容】

	主な学習内容〔活動〕
1 学 年	ガイダンス〔3年間を見通した授業の内容の説明〕 A 家族・家庭生活〔家族・家庭と地域〕 B 衣食住の生活〔食事の役割と中学生の栄養の特徴、中学生に必要な栄養を満たす食事〕 B 衣食住の生活〔衣服の選択と手入れ、日常を豊かにするための布を用いた製作〕
2 学 年	A 家族・家庭生活〔幼児の生活と家族〕 B 衣食住の生活〔日常食の調理と地域の食文化〕 C 消費生活・環境〔金銭の管理と購入、持続可能な消費生活〕
3 学 年	A 家族・家庭生活〔幼児の生活と遊び、これからの家族と地域〕 B 衣食住の生活〔住まいの役割と安全な住まい方〕 自立と共生を目指し、これからの生活をより良くする方法を考える〔三年間のふり振り返りとまとめ〕

【観点別の目標と評価の方法】

観 点	目 標	評価の方法
知識・技能	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などの技術について、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・学習プリントの回答内容 ・レポートなどの課題の達成度 ・技術の習得状況 ・作品の完成度 ・実習中の用具の使い方
思考・判断・表現	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・知識を活用する姿勢 ・学習プリントの回答内容 ・課題解決の方法 ・実習中の工夫（思考・判断）の様子
主体的に学習に取り組む態度	自分として家族、課程生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・課題解決への意欲 ・実習計画立案への積極性 ・学習プリントの回答

【授業時数】

1年生	35時間（前・後期制）週2コマ続き
2年生	35時間（前・後期制）週2コマ続き
3年生	18時間（隔週）